

平野調整員ら AMDAが派遣

サモア沖地震で

南太平洋のサモア沖で先月末に発生した地震による津波を受け、国際医療救援団体「AMDA」（本部・岡山市）は、ニティアン・ヴィーラバグ調整員と平野恭助調整員の派遣を決めた。2人は13日に成田空港を出発。ニュージールランド・オークランドで抗生剤や包帯などの医薬品を購入後、サモアの首都アピアで配布する予定。

AMDAによると、WHO（世界保健機関）の発表で死者137人、負傷者310人、行方不明者2人で、約3500人が避難生活を送っている（7日現在）。AMDAはカナダ、ニュージールランド支部の協力で被災状況などを調査。両支部とNPOを通じ、心的外傷後ストレス障害の専門家を派遣する。

義援金は、郵便振替

01250-2-40

709 口座名「特定

非営利活動法人アム

ダ」。通信欄に「サモア諸島津波」と記入する。

【椋田佳代】